

ホスピタル・プレイ  
スペシャリスト  
第6回スキル  
アップ講座



**HPS** Japan  
Hospital Play Specialist

日時 2018. 2. 11 (日)

10:00~16:00 (開場09:30)

会場 静岡県立大学短期大学部・講堂

参加費 NPO会員7,000円、非会員 9,000円、  
学生7,000円



事前申込要/お申込はWEBで

~すべての子どもとつながるために~  
子どもの尊厳を守る  
ホスピタル・プレイの方法を学ぶ

講師 Elizabeth Lydia先生 /通訳・兼任講師 松平 千佳



【講師】Elizabeth Lydia エリザベス・リディア先生  
英国ドーゼット州教育委員会・Advisory Teacher  
英国ドーゼット州の教育委員会のAdvisory Teacher  
として、視覚、聴覚障がいや重複障がいを持つ子ども  
たちとの教育的なかかわりについて助言指導を行う。  
発達障がいや難病など多様な医療ニーズを持つ0歳  
~25歳までの子どもと青年を支援している。

【通訳・兼任講師】松平 千佳 静岡県立大学短期大学部 准教授  
NPO法人ホスピタル・プレイ協会 理事長  
英国Hospital Play Staff Education Trustより、HPSに認定。  
ホスピタル・プレイの方法論及びHPS養成に関する研究を行うとともに、  
援助実践を行う。

受講対象

HPS、CLS、保育士・看護師・PT・OT・ST、教員など小児医療・児童福祉・特別支援教育に関わる専門職の方、病気や障がいをもつ子どもへの専門的な支援方法を学びたい方、ホスピタル・プレイに興味関心があり、専門的な知識と技術を学びたい方

お申込み・お問い合わせ

下記専用フォームよりお申込の上、受講料をお振込下さい。

<https://m6.members-support.jp/hps-japan/>

※HPS会員は、ログインの上、お申込ください。  
※一般の方は、新規ユーザー登録の上、お申込ください。  
※振込方法は、上記申込フォームに記載しています。

〈お問い合わせ先〉

静岡県立短期大学部HPS事務局  
TEL/FAX (054) 202-2652  
Mail info@hps-japan.net

【学習目標】

- ◆**感覚障害がある子どもへの支援方法**  
感覚障害とは何か  
感覚障害が発達に与える影響  
子どもの妨げとしての障害が進行しないために  
周囲の環境にどのように気を配ればよいか
- ◆**子どもを主体にした学びの方法**  
大人による様々な介入のレベル  
子ども主体の学びが重要な理由  
質の高い「遊び」を構成する要素  
特別支援教育が必要な子どもたち特有の課題  
多様な環境のなかで、子ども主体の学びを促進し、  
学ぶ機会を増やすために私たちができること
- ◆**子どもたちに必要な選択する力をつくる**  
なぜ「選択をするスキル」が大事なのか  
選択するために必要な力  
医療的ケア児にとって、なぜ選択することが難しいか
- ◆**音楽を使った物語やトピックで関わる方法**  
音楽を使ってお話の時間を更に充実させる方法  
動きに音楽を連動させる方法
- ◆**ストーリートピック/マッサージ**  
トピックマッサージで支援する方法  
匂いや音も効果的に導入する方法
- ◆**様々なコミュニケーションの方法**  
触覚で感知する合図  
物に意味を持たせて伝える方法  
サインアロング法  
シンボル法(体験)

主催 NPO法人ホスピタル・プレイ協会  
~すべての子どもの遊びと支援を考える会~  
後援 静岡県立大学短期大学部/静岡県立大学大学院 経営情報  
イノベーション研究科 地域経営研究センター  
協力 タケダ・ウェルビーイング・プログラム2016